

# 6 学年部会

**【研究主題】** 人の営みに学び、未来を創る子どもが育つ社会科教育  
**【研修会主題】** 学んだことを社会や生活に生かす学習過程のあり方

**【研修会主題に迫るための視点】**

<p><b>視点①</b></p> <p>生かした単元づくり</p> <p>主体的な学びを実現するための、予想と見通しを</p>	<p><b>「子どもをしっかりみとり、学ばせたい熱い教材への思いと問題を熱く追究する子どもの主体性を大切にする」</b></p> <p>主体的な学びを実現するために「学ばせたい熱い教材への思い」を大切に。学ばせたい熱い教材とは、地域や子どもたちの実態に合った身近な材を吟味し、教材化することや子どもと社会的事象との出合わせ方の工夫である。問題追究の流れを生むためには、社会的事象を自分事としてとらえやすくなるような魅力ある事実・人物・人の営みとの出会いが大切であり、出合わせ方にこそ教師の指導性が問われていく。どのように導入や事象との出合わせ方を工夫すれば、子どもたちが問題解決に迫ることができるのかを、教材研究の時点で教師自身がブレない軸を明確にもつことが大切だと考える。その際、冷静に学習指導要領を吟味し、教材との整合性を図り、予想と見通した事実をもとに子どもが問いをもって追究していけるようにする。</p> <p>子ども自身が予想と見通しをもって主体的に熱く追究できるような単元を見通す学習問題を設定するために、単元構想をもとに、今の自分たちの生活や前時代などを比較したり関連付けたりしながら既習事項とのつながりや導入の工夫を大切にして学習計画をつくる。そのための地図や年表などの基礎的資料の有効性について検証したい。</p> <p>本気の学習問題を作る場面では、それまでの社会認識の「ズレ」や切実感を生み出すように意識し、子どもたちにとって共通の問題になっているのかを吟味する必要がある。今までの学習の積み重ねが発揮される問題であり、社会的事象の意味等に迫る問題になっているのかを吟味する。</p> <p>「子どものみとり」で大切にしたいことは、子ども一人ひとりの考えや根拠、学習状況、興味関心をみとることである。単元を通して、学んだことを学習や社会生活に生かすために、自らの学習を調整する時間、ふり返りをしっかり行う時間を設定し、子どもが事実をもとに自ら考え、判断し、実感できるようにする。子どもがどんな思考の変容が表れているのかを注目児を設定し、その変容を検証していきたい。</p>
<p><b>視点②</b></p> <p>働的な学びを大切に授業づくり</p> <p>社会的事象の意味等に迫るために、協</p>	<p><b>「子どもをしっかりみとり、本時目標を具体化させて本時で迫りたい社会的事象の意味等とは何かを明確にする」</b></p> <p>協働的な学びを大切に授業づくりを実現するために「子どもをしっかりみとり、本時目標を具体化させる」ことを大切に。そのためには、学習指導要領をもとに、本時で迫りたい社会的事象の意味等とは何かを明確にする。その上で子どもたちが問題解決に迫るのか、どうすれば本時目標を達成できるのかを想定・分析して、子どもの実態をしっかりみとることで、本時目標が明確になる。</p> <p>社会的事象の意味等に迫っていく場面では、これまでの学習の積み重ねや生活経験をもとに、社会的事象の意味等に対する認識の「ずれ」など、子どもの思考のみとりから、どんな資料が効果的か、どんな発問や価値付け、意味づけが有効かなど、協働的な学習を支えながら授業をデザインする指導性が必要である。</p> <p>「社会や生活に生かそうとする子どもの姿」については、ふり返りやノート、授業記録をもとに、子どもの思考の変容をみとる。また、子どもの思考に迫る発問や問い返し、資料提示、板書など教師の指導性のあり方の有効性についても検証していきたい。</p>

**【6 学年部会で目指す子どもの姿】**

我が国の政治、歴史及び国際理解に関する社会的事象について、見方・考え方を働かせ、学習問題を追究・解決する活動を通して、根拠をもとに統計や年表や地図など基礎的資料などを効果的に活用しながら調べたり、多角的に考えたりしたことを表現し合うことを通して、学んだことを学習や生活に生かそうとする姿

**【学習内容と学習指導要領の関わり】**

政治の学習	政治の働きについて、国民主権の考えの下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることから、地域や日常生活とのつながりが見られる事例を調べ、政治を取り巻く事柄に関心をもったり、日本国憲法の基本的な考え方に沿って国民としての政治への関わり方について多角的に考えたりする子ども
歴史の学習	歴史上の主な事象について、歴史を学ぶ意味を考えながら先人の業績や優れた文化遺産などを調べ、今日の自分たちとの生活と過去の出来事とのかかわりを比較、関連付けながら理解し、過去の出来事をもとにして、国家及び社会の発展を考え、学んだことを生かし表現できる子ども
国際社会の学習	グローバル化する世界と日本の役割について、つながりが深い国の人々の生活や様子、国際交流や国際協力の様子、国際連合の働きを調べ、世界平和や世界の国々の人々と共に生きるために、異なる文化や習慣を理解し合うことの大切さや国際交流の果たす役割を考える子ども

